



BCN AWARD 2021

BCN ITジュニア賞 2021



2021

O N L I N E



BCN AWARD



BCN ITジュニア賞

「ものづくりの環」を支え、育む ―

人は、いつの時代も心地よい生活を求めています。

心地よい生活を実現する「道具」は、「使う人」「売る人」「つくる人」が生みだし、育みます。

BCNはこの三者をメビウスの環にたとえ、「ものづくりの環」と名づけました。

この環がバランスよくスムーズに回転する――すなわち“三方よし”となって、

はじめて人々の心地よい生活が実現します。

「売る人」を介して「使う人」の支持を得た「つくる人」を称える――

これが今年 22 回目を迎えた IT・デジタル製品の年間販売数実績

No.1 のメーカーを表彰する BCN AWARD です。

「ものづくりの環」を創造し、大きくするのは技術。

技術が、心地よい生活を実現する「道具」を生み出します。

将来、この循環を担うのは、情熱を抱いた若者たちにほかなりません。

すぐれた技術を持つ若者たちへの表彰を通して、ものづくりにかける夢と情熱を称える――

これが16回目を迎えたBCN ITジュニア賞です。

BCNは「ものづくりの環」を支え、育むメディア企業として、BCN AWARDとBCN ITジュニア賞を主催しています。

さらにU-16プログラミングコンテストに出場する「ITジュニアの卵」の皆さんを

応援することで、子どもたちの未来をつくっています。

子どもたちの未来は日本の未来。

皆さまとともに明るい未来を創造することが、われわれの願いです。

**BCN
AWARD
2021**

**BCN
ITジュニア賞
2021**

表彰式

2021年1月22日（金）

15時30分開場 16時開始 18時終了予定

オンライン開催

株式会社 BCN 会社概要

本 社	東京都千代田区内神田2-12-5 内山ビル Tel.03-3254-7801 Fax.03-3254-7802
創 業	1981年8月(旧社名:コンピュータ・ニュース社)
設 立	1984年5月
代 表 者	創業者・会長兼社長 奥田 喜久男
資 本 金	1億円
従業員数	56名(2020年12月現在)
加盟協会	一般社団法人 日本コンピュータシステム販売店協会 (JCSSA) 一般社団法人 コンピュータソフトウェア協会 (CSAJ) 特定非営利活動法人 ITジュニア育成交流協会 (A.JITEP) 特定非営利活動法人 山梨ICT&コンタクト支援センター インターネットメディア協会 (JIMA)

「BCN AWARD 2021」を受賞された皆さん、「BCN ITジュニア賞 2021」、「BCN ITジュニアU-16賞 2021」を受賞された皆さん、誠におめでとうございます。2020年は激動の年でした。働き方や学び方が変わり、私たちの生き方そのものも大きく変えることを余儀なくされました。多くの人が痛手をこうむり、多くの人が胸を痛めた1年でもありました。もしこれが、30年前の出来事だったなら、あらゆる場面でもっと大きな被害を受けていたことでしょう。幸いにして今日、私たちにはITという武器があります。メールやチャット、ネット会議が距離を埋め、時間を埋めて人と人をつなぐことができます。会えなくてもプロジェクトが進められる時代に私たちは生きています。そのITを、今まさに支えているのが、BCN AWARDを獲得した皆さんです。そしてこれから支えていくのが、BCN ITジュニア賞とBCN ITジュニアU-16賞を獲得した皆さんです。遅々として進まなかった日本のIT化は急速に進もうとしています。進化の強力なエンジンとして、大いに期待が集まっているのも、皆さんにほかなりません。我が国の新しい礎を担う皆さんの、自由で新しく豊かで奇抜な発想で、社会と世界を、さらに前へと進めてください。

2021年1月22日

BCN AWARD 実行委員会
実行委員長

道越 一郎



働き方から日常生活に至るまで、多くの変化を余儀なくされた2020年。誰ひとり経験したことのない苦境を救ったのは、まぎれもなくテクノロジーでした。中でもデジタル・テクノロジーは、新しい社会の実現には欠くことができないものだ、ということが改めて明らかになりました。オンライン開催へと変化したプログラミングコンテストでは、例年にも増して優れた作品が多く、強く印象に残りました。私たちは今、新たな時代の到来を目の当たりにしています。「BCN AWARD」「BCN ITジュニア賞」「BCN ITジュニアU-16賞」を受けた皆さんの真価が問われる時です。それぞれの分野で多くの受賞者が未来を切り拓く姿を目に浮かべながら、回線を通じて1年の努力と研鑽を声高らかに称えます。

2021年1月22日

株式会社BCN 創業者 取締役会長兼社長
NPO法人ITジュニア育成交流協会 理事長

奥田 喜久男



「BCN AWARD」の基礎データ 「BCN ランキング」



「BCN ランキング」は、全国の家電量販店、パソコン専門店、ネットショップの実売データを日次で収集し、製品ジャンルごとに集計した実売データベースです。集計対象は、パソコン、テレビ、デジタルカメラなど計155品目（2020年12月末現在）で、JANコード別に販売数・金額を集計し、一部のアイテムはカラーバリエーションなどを合算したシリーズ別での集計も行っています。「BCN AWARD」は、この「BCN ランキング」をもとに、部門ごとに年間（1月1日～12月31日）で最も販売数が多かったメーカーを表彰する制度です。

データ提供会社（五十音順）

アマゾン ジャパン、エディオン、NTTレゾナント、ケーズホールディングス、コジマ、サードウェーブ、サンキュー、上新電機、スタート、ストリーム、ソフマップ、ZOA、ナニワ商会、ビックカメラ、ビーシーデポコーポレーション、Project White、ベスト電器、三星カメラ、ムラウチドットコム、MOA、ユニットコム、ラオックス、楽天、綿半ドットコムの24社です。

（注1）集計対象店舗数は2717店舗（2020年12月末現在）です。
（注2）集計対象の社数は、当社と販売店との間でデータ提供契約を締結している法人数です。

BCN AWARD 2021 後援団体

「BCN AWARD 2021」は、趣旨にご賛同いただいた右記の6団体にご後援いただいております。

- 大手家電流通協会
- 一般社団法人 コンピュータソフトウェア協会
- 一般社団法人 コンピュータソフトウェア著作権協会
- 一般社団法人 電子情報技術産業協会
- 一般社団法人 日本コンピュータシステム販売店協会
- 公益財団法人 日本生産性本部

BCN AWARD 2021 認証委員会

受賞審査が正確な集計データに基づき公正に実施されたことを、有識者の先生方に認証していただく「認証委員会」を設置。認証委員は以下の5名で構成します。

- 麻倉怜士氏（デジタル・メディア評論家）
- 土方恭子氏（宇田川・新城法律事務所 弁護士）
- 大原茂之氏（一般社団法人スキルマネジメント協会 理事長）
- 堀内征治氏（特定非営利活動法人高専プロコン交流育成協会 理事長）
- 前川 徹氏（東京通信大学情報マネジメント学部 学部長教授）

BCN AWARD 2021 基礎数値

（集計期間：2020年1月～2020年12月）

	ハードウェア	ソフトウェア
対象メーカー数	2,829	463
販売台数総計（台／本）	155,857,818	2,435,637
売上総計（円）	1,312,341,954,790	27,322,703,855
情報提供会社数	24 社（累計）	



BCN AWARD 2021

〔受賞企業／全110部門〕

ハードウェア部門

受賞部門	受賞社	受賞履歴
デスクトップPC部門	富士通クライアントコンピューティング株式会社	4年連続 6回目
ノートPC部門	NECパーソナルコンピュータ株式会社	10年連続 14回目
タブレット端末部門	Apple Inc.	10年連続 10回目
タブレット端末アクセサリ部門	エレコム株式会社	10年連続 10回目
液晶ディスプレイ部門	株式会社アイ・オー・データ機器	5年連続 6回目
VR・ARゴーグル部門	Facebook Technologies, LLC	2年連続 2回目
インクジェットプリンタ部門	キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社	2年連続 11回目
ページプリンタ部門	キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社	3年連続 16回目
サーマルプリンタ部門	キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社	16年連続 16回目
複合プリンタ部門	キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社	2年連続 7回目
フォトプリンタ部門	キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社	7年連続 8回目
HDD外付部門	株式会社バッファロー	13年連続 18回目
HDD内蔵部門	日本シーゲイト株式会社	初受賞
NAS部門	株式会社バッファロー	8年連続 8回目
記録型DVDドライブ部門	株式会社バッファロー	10回目
SSD外付部門	株式会社バッファロー	初受賞
SSD内蔵部門	マイクロンジャパン株式会社	2年連続 3回目
メモリ部門	シー・エフ・デー販売株式会社	10年連続 10回目

受賞部門	受賞社	受賞履歴
マザーボード部門	ASUS JAPAN株式会社	16年連続 18回目
メモリカード部門	サンディスク株式会社	2年連続 8回目
USB部門	エレコム株式会社	5年連続 20回目
カードリーダー部門	エレコム株式会社	11年連続 12回目
拡張インターフェース部門	シー・エフ・デー販売株式会社	12年連続 12回目
USBメモリ部門	株式会社バッファロー	8回目
KVM切替器部門	エレコム株式会社	7年連続 9回目
PCケース部門	Thermaltake Technology Co., Ltd. / 株式会社アスク	3年連続 3回目
ベアボーン部門	ASRock Incorporation	2年連続 2回目
PC電源部門	シー・エフ・デー販売株式会社	10年連続 10回目
ドライブケース部門	シー・エフ・デー販売株式会社	11年連続 13回目
ワイヤードスピーカー部門	サンワサプライ株式会社	3年連続 3回目
ワイヤレススピーカー部門	ハーマンインターナショナル株式会社	3年連続 3回目
DTM関連機器部門	ヤマハ株式会社／株式会社ヤマハミュージックジャパン	初受賞
映像関連ボード部門	グーグル合同会社	7年連続 7回目
サウンド関連ボード部門	クリエイティブメディア株式会社	22年連続 22回目
グラフィックボード部門	エムエスアイコンピュータージャパン株式会社	2年連続 2回目
ホームシアターシステム部門	ソニー株式会社／ソニーマーケティング株式会社	2年連続 7回目

ハードウェア部門

受賞部門	受賞社	受賞履歴
スピーカーシステム部門	ヤマハ株式会社/株式会社ヤマハミュージックジャパン	4年連続 4回目
AVアンプ部門	株式会社ディーアンドエムホールディングス	2年連続 2回目
ヘッドホン・イヤホン(ワイヤード)部門	エレコム株式会社	初受賞
ヘッドホン・イヤホン(ワイヤレス)部門	Apple Inc.	初受賞
携帯オーディオ部門	ソニー株式会社/ソニーマーケティング株式会社	10年連続 10回目
携帯オーディオアクセサリ部門	エレコム株式会社	14年連続 14回目
ICレコーダー部門	オリンパス株式会社	6年連続 14回目
電子ピアノ部門	カシオ計算機株式会社	2回目
LANカード部門	株式会社バッファロー	22年連続 22回目
HUB部門	株式会社バッファロー	20年連続 21回目
ルータ部門	株式会社バッファロー	18年連続 19回目
無線LAN部門	株式会社バッファロー	19年連続 19回目
PLC部門	株式会社アイ・オー・データ機器	5年連続 5回目
UPS部門	シュナイダーエレクトリック株式会社	6年連続 12回目
スキャナ部門	株式会社PFU	11年連続 11回目
デジタルカメラ(レンズ一体型)部門	キヤノン株式会社/キヤノンマーケティングジャパン株式会社	2年連続 16回目
デジタルカメラ(一眼レフ)部門	キヤノン株式会社/キヤノンマーケティングジャパン株式会社	13年連続 15回目
デジタルカメラ(ミラーレス一眼)部門	ソニー株式会社/ソニーマーケティング株式会社	2回目
デジタルビデオカメラ部門	ソニー株式会社/ソニーマーケティング株式会社	12回目
アクションカメラ部門	GoPro, Inc.	6年連続 6回目
デジタルフォトフレーム部門	恵安株式会社	4年連続 4回目
交換レンズ部門	キヤノン株式会社/キヤノンマーケティングジャパン株式会社	12年連続 12回目
三脚・一脚部門	ハクバ写真産業株式会社	3回目
カメラケース・バッグ部門	ハクバ写真産業株式会社	5年連続 5回目
PCカメラ部門	株式会社ロジクール	8年連続 13回目

受賞部門	受賞社	受賞履歴
マウス部門	エレコム株式会社	21年連続 21回目
キーボード部門	株式会社ロジクール	9年連続 9回目
ゲームコントローラ部門	株式会社ロジクール	初受賞
10キーボード部門	エレコム株式会社	5年連続 15回目
ペンタブレット部門	株式会社ワコム	22年連続 22回目
スマートフォン部門	Apple Inc.	10年連続 10回目
SIMフリースマートフォン部門	Apple Inc.	初受賞
スマートフォンケース部門	エレコム株式会社	8年連続 8回目
スマートフォン保護シート部門	エレコム株式会社	5年連続 5回目
モバイルバッテリー・充電器部門	エレコム株式会社	7年連続 7回目
電子辞書部門	カシオ計算機株式会社	16年連続 16回目
電子文具部門	株式会社NAKAGAMI	初受賞
CDメディア部門	マクセル株式会社	5年連続 10回目
DVDメディア部門	マクセル株式会社	5年連続 11回目
BDメディア部門	マクセル株式会社	4年連続 4回目
液晶テレビ(4K未満)部門	シャープ株式会社/シャープマーケティングジャパン株式会社	17年連続 17回目
液晶テレビ(4K以上)部門	ソニー株式会社/ソニーマーケティング株式会社	3回目
有機ELテレビ部門	ソニー株式会社/ソニーマーケティング株式会社	4年連続 4回目
デジタルチューナー部門	株式会社アイ・オー・データ機器	5年連続 8回目
BD・DVDレコーダー部門	パナソニック株式会社/パナソニック コンシューマーマーケティング株式会社	10年連続 12回目
BD・DVDプレーヤー部門	ソニー株式会社/ソニーマーケティング株式会社	6年連続 12回目
プロジェクター部門	セイコーエプソン株式会社/エプソン販売株式会社	17年連続 17回目
PND部門	パナソニック株式会社/パナソニック コンシューマーマーケティング株式会社	4年連続 6回目
ドライブレコーダー部門	株式会社コムテック	4年連続 4回目
LED電球・蛍光灯部門	アイリスオーヤマ株式会社	2回目

ソフトウェア部門

受賞部門	受賞社	受賞履歴
OS部門	日本マイクロソフト株式会社	22年連続 22回目
統合ソフト部門	日本マイクロソフト株式会社	22年連続 22回目
ワープロ・エディタソフト部門	株式会社ジャストシステム	22年連続 22回目
文書管理ソフト部門	ソースネクスト株式会社	18年連続 18回目
データベースソフト部門	日本マイクロソフト株式会社	22年連続 22回目
表計算・グラフソフト部門	日本マイクロソフト株式会社	22年連続 22回目
データ管理ソフト部門	株式会社デネット	5年連続 5回目
セキュリティソフト部門	トレンドマイクロ株式会社	13年連続 13回目
プレゼンテーションソフト部門	日本マイクロソフト株式会社	22年連続 22回目
グラフィックスソフト部門	アドビ株式会社	2年連続 17回目
ビデオ関連ソフト部門	サイバーリンク株式会社	6年連続 8回目
画像処理ソフト部門	アドビ株式会社	19年連続 19回目

受賞部門	受賞社	受賞履歴
サウンド関連ソフト部門	クリプトン・フューチャー・メディア株式会社	14年連続 14回目
LAN・インターネットソフト部門	株式会社ジャストシステム	13年連続 13回目
業務ソフト部門	弥生株式会社	22年連続 22回目
通信ソフト部門	株式会社インターコム	21年連続 21回目
CADソフト部門	エーアンドエー株式会社	5年連続 5回目
申告ソフト部門	弥生株式会社	17年連続 17回目
システムメンテナンスソフト部門	AOSデータ株式会社	12年連続 12回目
ユーティリティソフト部門	株式会社AHS	4年連続 4回目
トレーニングソフト部門	ソースネクスト株式会社	20年連続 21回目
テンプレートソフト部門	株式会社デネット	7年連続 7回目
葉書・毛筆ソフト部門	ソースネクスト株式会社	22年連続 22回目
PCゲームソフト部門	株式会社スクウェア・エニックス	4年連続 7回目



BCN AWARD 2021

複数部門受賞

部門数	受賞社	受賞部門
11部門	エレコム株式会社	タブレット端末アクセサリ部門 USB部門 カードリーダー部門 KVM切替器部門 ヘッドホン・イヤホン(ワイヤード)部門 携帯オーディオアクセサリ部門 マウス部門 10キーボード部門 スマートフォンケース部門 スマートフォン保護シート部門 モバイルバッテリー・充電器部門
9部門	株式会社バッファロー	HDD外付部門 NAS部門 記録型DVDドライブ部門 SSD外付部門 USBメモリ部門 LANカード部門 HUB部門 ルータ部門 無線LAN部門
8部門	キヤノン株式会社/キヤノンマーケティングジャパン株式会社	インクジェットプリンタ部門 ページプリンタ部門 サーマルプリンタ部門 複合プリンタ部門 フォトプリンタ部門 デジタルカメラ(レンズ一体型)部門 デジタルカメラ(一眼レフ)部門 交換レンズ部門
7部門	ソニー株式会社/ソニーマーケティング株式会社	ホームシアターシステム部門 携帯オーディオ部門 デジタルカメラ(ミラーレス一眼)部門 デジタルビデオカメラ部門 液晶テレビ(4K以上)部門 有機ELテレビ部門 BD・DVDプレーヤー部門
5部門	日本マイクロソフト株式会社	OS部門 統合ソフト部門 データベースソフト部門 表計算・グラフソフト部門 プレゼンテーションソフト部門
4部門	Apple Inc.	タブレット端末部門 ヘッドホン・イヤホン(ワイヤレス)部門 スマートフォン部門 SIMフリースマートフォン部門
4部門	シー・エフ・デー販売株式会社	メモリ部門 拡張インターフェース部門 PC電源部門 ドライブケース部門
3部門	ソースネクスト株式会社	文書管理ソフト部門 トレーニングソフト部門 葉書・毛筆ソフト部門
3部門	マクセル株式会社	CDメディア部門 DVDメディア部門 BDメディア部門
3部門	株式会社アイ・オー・データ機器	液晶ディスプレイ部門 PLC部門 デジタルチューナー部門
3部門	株式会社ロジクール	PCカメラ部門 キーボード部門 ゲームコントローラ部門
2部門	アドビ株式会社	グラフィックスソフト部門 画像処理ソフト部門
2部門	カシオ計算機株式会社	電子ピアノ部門 電子辞書部門
2部門	ハクバ写真産業株式会社	三脚・一脚部門 カメラケース・バッグ部門
2部門	パナソニック株式会社/パナソニック コンシューマーマーケティング株式会社	BD・DVDレコーダー部門 PND部門
2部門	ヤマハ株式会社/株式会社ヤマハミュージックジャパン	DTM関連機器部門 スピーカーシステム部門
2部門	株式会社ジャストシステム	ワープロ・エディタソフト部門 LAN・インターネットソフト部門
2部門	株式会社デネット	データ管理ソフト部門 テンプレートソフト部門
2部門	弥生株式会社	業務ソフト部門 申告ソフト部門

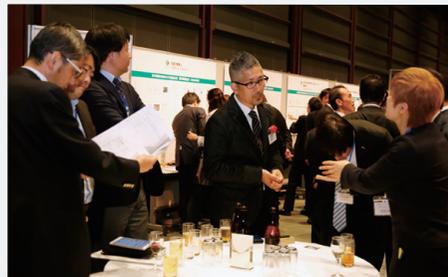


BCN AWARD 2021



今と未来が出会う場所

今を担うデジタル家電の No.1 と未来を担う若者の No.1 が集う表彰式では、
これまで数多くの出会いが生まれてきました。





BCN ITジュニア賞 2021

BCN ITジュニア賞は、技術立国日本の明日を担う若い世代にもものづくりの情熱を伝え、IT業界に多くの優秀な人材を迎え入れるために、ITを学ぶ優秀な若者たちを表彰する制度です。NPO法人ITジュニア育成交流協会と協力しながら、青少年を対象とした五つの全国レベルのITコンテストで最優秀賞に輝いた方々を表彰しています。2006年の創設以来、300人を超える若者たちをIT業界の大人たちの前で称えてきました。

全国高等専門学校プログラミングコンテスト

(主催：一般社団法人全国高等専門学校連合会)

プログラミングやものづくりを学ぶ高等専門学校生が集う。
課題・自由部門の審査は創造性、独創性を重視する。



各校のプレゼンやデモを自由に見学できるバーチャルイベントも配信された

U-22プログラミング・コンテスト

(主催：U-22プログラミング・コンテスト実行委員会)

かつて経済産業省が主催していた「U-20プログラミング・コンテスト」を、一般社団法人コンピュータソフトウェア協会が引き継いだ際に対象年齢を拡大。応募作品が急増中だ。



最終審査会に残った皆さん

2020年の『高校生ものづくりコンテスト』、『若年者ものづくり競技大会』、『全国高校生プログラミングコンテスト』は開催中止になりました

第31回全国高等専門学校 プログラミングコンテスト

第31回高専プロコンは、苫小牧工業高等専門学校を主管校として2020年10月10・11日の2日間、初めてオンラインで開催された。今回は課題部門と自由部門のみ。昨年に引き続き東京工業高等専門学校が2年連続で全部門制覇を達成し、2チームが文部科学大臣賞を受賞した。

国立東京工業高等専門学校

ぶらんとこれくしょん —体験型植物観察学習システム—制作チーム

藤巻 晴葵
藤川 興昌
吉澤 輝
宮本 明
吉倉 勇介



Kiseki Sketch —あなただけの地上絵を—制作チーム

門脇 斎斗
田中 颯太
山口 翔太
石井 晃斗
石井 泰斗



AIを用いた自動車運転能力測定装置

東京医科大学
西村 太雅 野田 都里人



点体望遠鏡

守山市立速野小学校
越智 晃瑛



3密チェッカー

愛知工業大学情報電子専門学校
坂井田 逸斗



deepMusa

富士市立富士南中学校
鶴田 慈貴

U-22プログラミング・コンテスト2020

2020年11月29日、U-22プログラミング・コンテスト2020 最終審査会が開催され、41回目を数える今回は、初めてのオンライン開催。プレゼンテーションを含めた審査会の模様はニコニコ生放送で配信され、総合・プロダクト・テクノロジー・アイデアの4カテゴリで経済産業大臣賞を受賞する作品が選考された。



BCN ITジュニア賞
2021

BCN ITジュニアU-16賞 2021

『BCN ITジュニアU-16賞』は、各都道府県でおこなわれる16歳以下対象のプログラミング大会で優勝（最優秀賞）した、プログラミングが大好きな“未来のITジュニア”の皆さんを称える賞です。

7 第5回U-15プログラミングコンテスト愛媛大会
優勝 北山 蓮

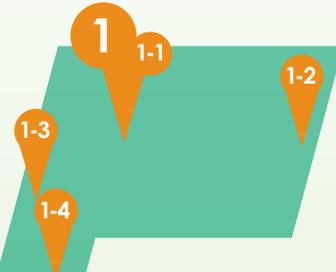
8 第2回U-16プログラミングコンテスト福岡大会
最優秀賞 杉山 蒼葉

6 第1回U-16プログラミングコンテスト阿南大会
優勝 近藤 彰

5 第3回U-16プログラミングコンテスト和歌山大会
優勝 山下 瑠菜

4 第4回U-16プログラミングコンテスト三重大会
最優秀賞 長島 希果 最優秀賞 吉高 僚真





1 第7回U-16プログラミングコンテスト北海道大会

優賞 菊地 結翔

『U-16プログラミングコンテスト』は、2011年に北海道旭川市で誕生しました。大学、高専や工業高校でプログラミングを学ぶ学生・生徒さんが、地域の小・中学校生にプログラミングを教えるという素晴らしいスキームです。それを周囲で支える先生や企業の人たちは、プログラミングを学ぶ、教える子どもたちの吸収力に驚き、交流のあったITジュニア育成交流協会は、そのスキームと地域を盛り上げる熱意に共感し、他の地域へ開催をお勧めする活動を始めました。各大会は、プログラム対戦競技『CHaser』やプログラミングを使った作品で開催され、協会は優秀者に『BCN ITジュニアU-16賞』を授与し、IT業界の皆様にご紹介、支援を呼びかけています。今年にはオンラインで開催します。

2020年はコロナ感染防止が最優先、異例の一年になりました。準備していた第1回の開催を断念せざるをえなかったり、急遽オンライン開催に変更したり、学校では授業が遅れて夏休みが短縮されたり。こうした不測の環境のなかで開催された大会は皆さんの熱意の賜物です。参加した子供たちの笑顔が忘れられません。

1-1 第10回 U-16 旭川プログラミングコンテスト

1-2 第8回U-16プログラミングコンテスト 釧路大会

1-4 第2回U-16プログラミングコンテスト 函館大会

1-3 第3回U-16プログラミングコンテスト 札幌大会

3 第3回U-15長野プログラミングコンテスト

〔小学生部門〕 優勝 小田切 一樹
〔中学生部門〕 優勝 小林たいち

2 第3回U-16山梨プログラミングコンテスト

最優秀賞 堀江 晃太郎



U-16プロコンへのいざない

U-16プロコンは 小・中学生のプログラミング学習支援活動です

BCNとNPO法人ITジュニア育成交渉協会は、小・中学生のプログラミング学習支援に関心を持つ方に『U-16プログラミングコンテスト』をご紹介します。

新型コロナウイルス感染防止でオンライン授業やテレワークが広く導入され、生活の中でICTへの意識が一気に高まりました。文部科学省を中心に推進されているICT教育も、現場の学校では取り組みに大きな格差があり、実際は学校外からの有志による支援が大きな役割を果たしています。

各地で様々な取り組みが行われていますが、『U-16プロコン』はプログラミングを教えてくださいと先生等を中心に、地元を愛する方々の支援で小規模スタートし、徐々に大きくなっていくケースがほとんどです。ご興味がある方は、ぜひITジュニア育成交渉協会までお問合せください。(info@ajitep.org)

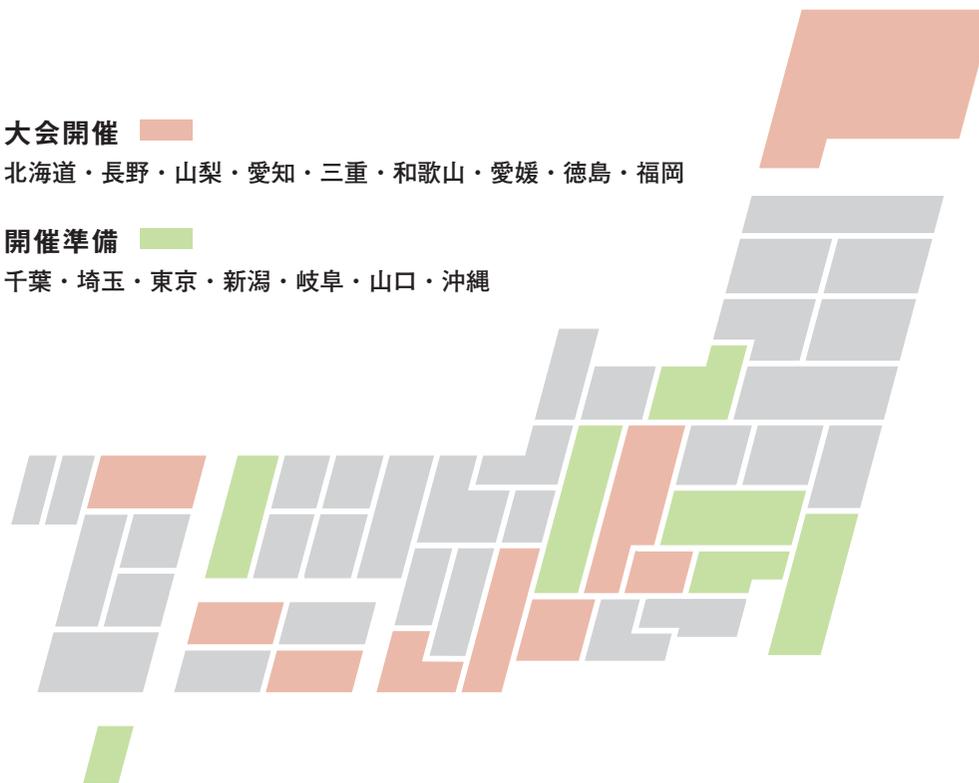
プログラミングを楽しく学ぶ機会を多くの子どもたちに！

大会開催

北海道・長野・山梨・愛知・三重・和歌山・愛媛・徳島・福岡

開催準備

千葉・埼玉・東京・新潟・岐阜・山口・沖縄



※『U-16プロコン』は16歳以下対象という意味です。地域の事情に合わせて15歳以下 (U-15)、12歳以下 (U-12) として開催する大会も含めます。

NPO法人ITジュニア育成交流協会

A.JITEP

NPO法人 ITジュニア育成交流協会
Association for Junior IT Engineer Program

<https://www.ajitep.org>

ITを学ぶ若者＝ITジュニアの育成活動を支援する特定非営利活動法人です。
2005年に東京都の認証を受け、関連する専門家や教育機関、研究機関、
IT関連企業と連携し、教育現場に対してさまざまな支援を行っています。

法人会員であるIT企業＝協賛企業の皆さまからいただく協賛会費によって支えられています。

I-O DATA

I-SITE

AMIYA

interCOM®

ELECOM
LIFESTYLE INNOVATION

aucfan

OBC
OBC BUSINESS CONSULTANTS CO.LTD.

Q&A
Q&A Corporation

QualitySoft

CRIPTON

SAKURA
internet

THIRDWAVE

SANWA
SUPPLY

Computer
Communication
of the World
CCW

JBCC
holdings

Sky

salesforce

DATATANG

NIKKO 日興通信株式会社

AMD

making IT the best key
NJC

つなく技術で、あなたに喜びを
BUFFALO™

PFU
a Fujitsu company

Pro-Ship

TSUIKUMO

弥生

BCN

株式会社アイ・オー・データ機器
株式会社アイサイト
株式会社網屋
株式会社インターコム
エレコム株式会社
株式会社オークファン

株式会社オービックビジネスコンサルタント
キューアンドエー株式会社
クオリティソフト株式会社
クリプトン・フューチャー・メディア株式会社
さくらインターネット株式会社
株式会社サードウェーブ

サンワサプライ株式会社
株式会社シー・シー・ダブル
JBCCホールディングス株式会社
Sky株式会社
株式会社セールスフォース・ドットコム
データ・タンク株式会社

日興通信株式会社
日本AMD株式会社
日本事務器株式会社
株式会社バッファロー
株式会社PFU
株式会社プロシップ

株式会社Project White
弥生株式会社
株式会社BCN

(2021年1月現在 五十音順・敬称略)

「ものづくりの環」の詩

ものを使う人がいます

ものを売る人がいます

ものをつくる人がいます

いつの時代も私たちは生活の心地よさを求めます

その意おもいが新しいものを生みます

使う人、売る人、つくる人——

私たちは、「ものづくりの環」のなかで

すべての人の心が豊かになることを願っています

BCN ITジュニア賞の意義

技術は市場を創造します

市場の成長は、明日の社会の原動力となります

こうした循環を支えるものこそ、情熱を抱いた

若者たちにほかなりません

私たちが思い描くのは、プロのIT技術者たちと

若者たちがものづくりにかける夢と情熱を共有で

きる舞台の実現です

そして、その場での経営者トップからの激励

によってITに取り組む情熱の炎が若者たちに

受け継がれることを希求します